

# mitsubishi

三菱ネットワークレコーダー

形名

## NM-NV10

### 取扱説明書



三菱ネットワークレコーダー

# Network Recorder

---

このたびは三菱ネットワークレコーダーをお買い上げいただきありがとうございました。

- ・ ご使用になる前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。  
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保存し、必要なときにお読みください。
- ・ 保証書は必ず「お買上げ日」「販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。記録したデータを個人的に楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

ネットワークレコーダーを正しく安全にご使用いただくために、ご使用になる前に必ず4～10ページをお読みください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

# 本機的主要な特長

## 大容量ハードディスクドライブ（HDD）を搭載したネットワークレコーダー

本機は、最大 16 台のネットワーク監視カメラの映像をハードディスクに録画することができるネットワークレコーダーです。また、高信頼性・高速動作の大容量 HDD を搭載しており、長時間の録画が可能です。

## HDD 運用モード

スパニングおよびミラーリングの 2 つの HDD 運用モードから希望のモードを選択することができます。

## 設定が簡単

付属のソフトウェアを使用することにより、本機の設定を簡単に行うことができます。

## 操作が簡単

付属のソフトウェアを使用することにより、本機の手操作を簡単に行うことができます。また、1 台のパーソナルコンピューターから複数のレコーダーを操作することができます。

## 警告機能

本機で検出したエラーを外部へ知らせるための端子を備えています。また、LAN 経由で発報することもできます。

Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
(Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。)

Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本および／またはその他の国における登録商標または商標です。

- Windows XP は、Microsoft Windows XP Home Edition / Professional の略称として表記しています。
- Windows Vista は、Microsoft Windows Vista Ultimate / Home Premium / Home Basic / Business の略称として表記しています。

その他、記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では "®" マークや "TM" マークは明記していません。

# もくじ

本機的主要な特長	2
もくじ	3
この取扱説明書の読みかた	3
安全のために必ずお守りください	4
ご注意	11
オープンソースソフトウェアについて	11
各部のなまえとはたらき	12
本体前面部（ドア内部）	12
本体後面部	13
接続する	14
アラーム録画の接続	15
ケーブルのクランプのしかた	16
EIA ラックに複数台のレコーダーを設置する場合のご注意	16
本機を縦置きで設置する	17
本機を起動する	17
本機を起動する	17
本機と付属のソフトウェア NM-S10 の仕様	18
本機のボタン操作をロックする	19
HDD 運用モードの設定をする	20
HDD 運用モードについて	20
設定のしかた	20
「故障かな」と思う前に	22
インジケータの点灯／点滅状態	22
「故障かな」と思う前に	22
エラー表示	24
仕様	26
録画時間表	27
アフターサービス	裏表紙

## ◆ この取扱説明書の読みかた

### マークの見かた

（操作上、参考にしてください）

操作上、参考にさせていただきたい情報を記載しています。

（お気をつけください）

操作上、気をつけていただきたい情報を記載しています。

（参照ページをごらんください）








参照項目とページ数を記載しています。

# 安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	
 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	

## 警告

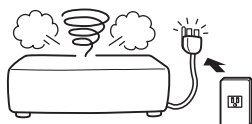
### 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

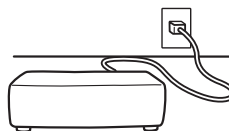
煙が出ている、変なおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



使用禁止

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

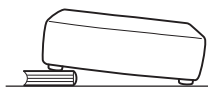
電源プラグを、コンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する



電源プラグがすぐ抜ける場所

異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができず、火災の原因となります。

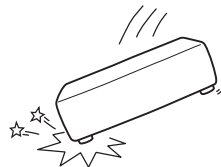
不安定な場所には置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

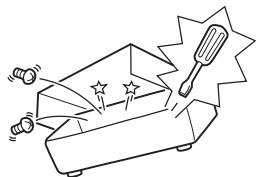
落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



使用禁止

火災や感電の原因となります。

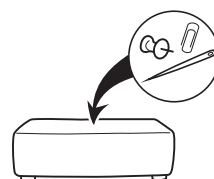
キャビネット（天板）をはずしたり、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

内部に異物を入れない

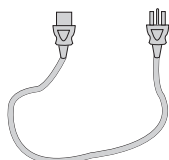


禁止

通風口や排気口から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

# 警告

## 付属の電源コードを使用する

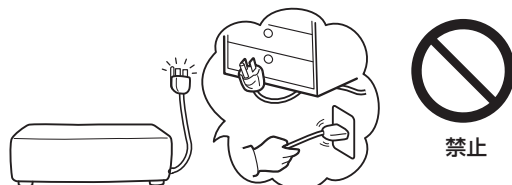


付属の電源コード

これ以外の電源コードを使うと、外部からの耐ノイズ入力性能が低下したり、火災の原因となります。アース端子は安全のための接地アースです。コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。電源プラグのアース端子をガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。

## 電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 無理に曲げない
- 束ねない
- 引っ張らない
- 加熱しない
- ねじらない
- 加工しない



コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

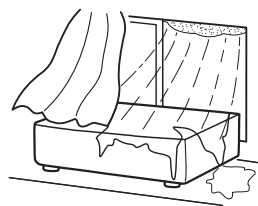
## 花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



水ぬれ禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

## 水でぬらさない

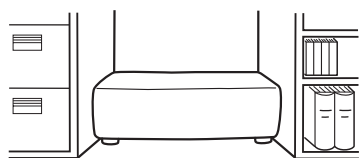


水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります。雨天、降雪中、水辺、窓辺での使用は、特にご注意ください。

## 通風口、排気口をふさがない

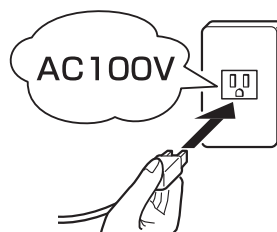
- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない



禁止

通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

## 正しい電源電圧（交流 100V）で使う、また配線器具の定格電流をこえない



交流 100V

交流 100V 以外の電圧で使用した場合や配線器具の定格電流をこえて使用すると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

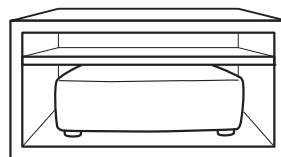
## 雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない



接触禁止

感電の原因となります。

## まわりに 15cm 以上すきまをあける（特に後面）



すきまをあける

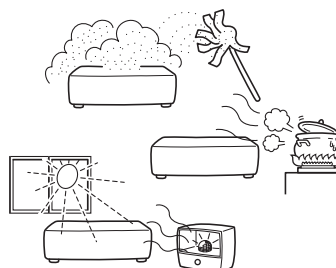
内部に熱がこもり、火災の原因となります。放熱をよくするために、他の機器から離して設置してください。

# 安全のために必ずお守りください (つづき)

## ⚠ 注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 製氷倉庫など、低温になるところ
- 自動車内など、振動が多いところ
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ
- 海岸近くなど、塩分の多いところ



設置禁止

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶ける、記録ドライブ等の劣化を早めるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

接続したまま本機を移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源が入った状態で移動させると内蔵HDDを破損させる恐れがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認し、1分以上たったあとで移動させてください。

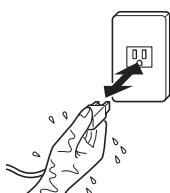
本機の上に重いものを置かない  
本機の上にのらない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

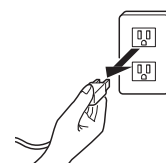
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

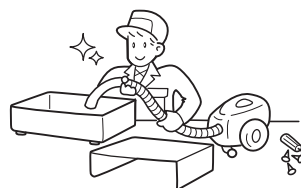
電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

5年に一度は内部の掃除を依頼する

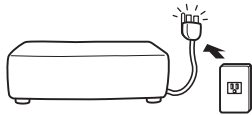


内部掃除

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

# ⚠ 注意

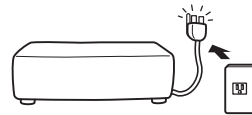
長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

定期的（1週間に1回程度）に電源を入れ、動作を確認してください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



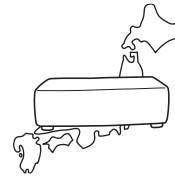
プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

## 本機は日本国内専用です

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.



日本専用

# 安全のために必ずお守りください（つづき）

## 使用上のお願い

### ハードディスク（HDD）について

- ・本機は、精密機器である HDD を搭載しております。本機の取扱いには、十分ご注意ください。
- ・本機に振動や衝撃を与えないでください。特に通電中や HDD へのアクセス中に振動や衝撃を与えると、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- ・録画・再生の動作中や通電中に電源プラグを抜かないでください。
- ・本機は、録画運用中に HDD 等に軽微な障害が発生した場合に自動復帰で録画運用を継続するシステムを搭載しておりますが、発生した HDD の障害によっては録画を継続できない場合があります。故障の早期発見のため、1 年ごとに点検を依頼されることをおすすめします。
- ・HDD に異常が発生した場合は、速やかに交換してください。HDD の交換については、販売店にご相談ください。（HDD の交換時には、録画を停止する必要があります。）
- ・弊社指定の HDD 以外は使用できません。使用できる HDD については、販売店にご相談ください。
- ・HDD を交換した場合は、録画した映像が消去されます。また、本機を安定して動作させるため、ファームウェアを更新する場合があります。その際に録画映像を消去する場合がありますが、ご容赦ください。
- ・本機を破棄または譲渡される場合は、HDD 内の映像データの取扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。
- ・ミラーリング運用中に片方の HDD が故障した場合でも動作は継続できますが、故障の状態によっては再起動後に録画動作に戻れない場合があります。
- ・HDD に映像が録画された状態で HDD 運用モードを変更すると、録画されていた映像は消去されます。
- ・データを消去すると、録画されていた映像は再生できなくなります。
- ・録画した内容が正常に再生できることを定期的に確認されることをおすすめします。

### 設置場所と取扱い

- ・はじめてご使用になるときは、本機内蔵の停電補償回路を動作させるために 48 時間以上連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。電池の充電が不十分な場合は、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れないことがあります。
- ・消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。
- ・本機を水平で安定した場所に置いて使用してください。不安定な場所に置いて使用すると、故障の原因となります。
- ・本機の外装を取りはずさないでください。
- ・他の機器とあまり近づけないでください。機器がお互いに悪影響を与えて、映像が乱れる可能性があります。
- ・本機を熱を発するものの上に置かないでください。また、本機の側面には通風口がありますので、熱を発するものの近くには置かないでください。内部の温度が上昇して故障の原因となります。
- ・強い磁気をもっているものを近づけないでください。映像に悪影響を与えたり、録画が損なわれることがあります。
- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- ・HDD と冷却ファンは駆動部品です。安定した録画動作を継続するため、周囲温度 25℃ までのご使用時に、3 万時間を目安に交換することをおすすめいたします。交換時には、HDD ネジ止め部の防振ゴムも交換してください。（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。上記の時間に満たない場合でも、本機に与えられた衝撃やご使用の周囲温度により故障する場合があります。）
- ・許容周囲温度（5～40℃）および許容周囲湿度（80%以下）を必ずお守りください。この温度範囲以外のご使用は、内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。また、温度が高くなると、HDD の特性が劣化したり、寿命に影響を及ぼす場合があります。低温でご使用になる場合は、10 分以上通電を行ったのち、ご使用ください。
- ・本機の通風口がほこりなどでふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- ・この製品は、クラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合、電波妨害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
- ・設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。



### 本機をラックに取り付ける場合のご注意

- ・ 本機をラックに取り付ける場合は、ラック内の温度が 40℃以上にならないようにしてください。ラック設置時は、ラック内の温度が 30℃以下におさまるよう、ファンなどの取り付けをおすすめします。
- ・ 本機の下側に温度が高くなる機器を取り付けしないでください。内部の温度が上昇して故障の原因となります。
- ・ ラック内にあるすべての HDD 搭載機器に衝撃を与えないでください。
- ・ 本機をラックから出し入れするとき、ラック内に通電中の HDD 搭載機器がある場合は、必ずその機器の電源を切ってください。
- ・ 振動を発生させる機器の近くには置かないでください。

### 設置場所の移動

- ・ 移動させるときは、必ず MAIN スイッチを OFF にし、完全に停止したことを確認したあと、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品や HDD をいためることがあります。特に電源インジケータまたはアクセスインジケータの点滅中は、ご注意ください。
- ・ 本体の電源を切ってから少なくとも 1 分間は移動させないでください。電源を切ったあともしばらくの間は HDD 内のディスクは惰性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この間は、通電中以上に振動・衝撃に弱い状態です。電源を切ってから最低 1 分間は軽い衝撃も与えないようご注意ください。1 分以上経過すれば、ディスクが静止するので作業を開始することができます。
- ・ 移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。
- ・ 本機を床などに置くときは、柔らかいマット等の上に静かにおろしてください。

### お手入れ

- ・ キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・ 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたしたあとよくしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ・ ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗料がはげたりするなどの原因となります。

### 本機を使用した監視システム構築上の注意

- ・ 本機を使用して監視システムを構築される際には、事前に他の機器との接続や組合せによる動作確認を行った上でご使用になることをおすすめします。
- ・ 本機の発報機能を、重大な判断に使用したり、人命に関わる用途などに使用したりしないでください。
- ・ 録画動作中にコンセントを抜いたりブレーカーを切ったりすると、HDD が故障したり、録画したデータが再生できなくなる恐れがあります。
- ・ お客様または第三者が外部機器の使い方を誤ったり、外部機器が電氣的ノイズの影響を受けたり、故障・修理したりしたときに、保存したデータが消失することがあります。保存したデータの消失による損害についてはご容赦ください。
- ・ 本機のバスパワーを使用した外部機器の電源制御機能は使用しないでください。
- ・ ご使用になりたい外部機器が運用方法に適さない場合があります。販売店にお問い合わせしていただくことをおすすめします。
- ・ 本機の動作中に、接続しているケーブル類を抜かないでください。故障の原因となることがあります。

### 大切な録画の場合

- ・ 必ず運用前に録画確認を行い、運用中も設定どおり正常に録画されていることを定期的を確認してください。
- ・ 本機を使用中、本機もしくは接続機器等の不具合により映像が録画されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ・ 万一の故障や事故に備えて、大切な録画の場合は定期的にコピーをとられることをおすすめします。デジタル信号の劣化はありませんが、保存環境によりディスクの経年変化の影響で再生や録画ができなくなる場合があります。

# 安全のために必ずお守りください（つづき）

## 個人情報の保護について

- ・ 本機を使用したシステムで録画された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。<sup>注）</sup> 法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

注） 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

## 著作権について

- ・ 本機はデジタル方式で録画を行うため、著作権を有する映像などを録画するにはご注意ください。

## 付属の電源コードについて

- ・ 付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

## ネットワークについて

- ・ ネットワークの設定については、ネットワーク管理者の確認を事前にとられることをおすすめします。
- ・ 本製品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本製品を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本製品の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

## 免責について

- ・ 万一、本機の不具合により監視システムの動作エラー、録画データの消失、その他の損失が発生した場合、弊社はその補償や責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、いかなる場合においても、弊社にて録画内容の修復、復元、複製等はいたしません。あらかじめご了承ください。

- ・ 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① お客様ならびに工事業者様により本製品の分解、修理または改造が行われた場合
- ② お客様ならびに工事業者様の誤使用や不注意により生じた本製品の故障、破損あるいは損害
- ③ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により生じた、映像が表示・録画等できないことまたは本機がもつ機能が正常に動作しないことによる不便・損害・被害
- ④ 第三者が製造した機器等との組み合わせによる不具合、あるいはその結果により被る不便・損害・被害
- ⑤ 内蔵のHDDをお客様自身ならびに工事業者様が交換した場合の、本製品の故障ならびに映像データの消滅による不便・損害・被害ならびにクレーム等
- ⑥ 地震・台風等を含む自然災害による本製品の故障ならびに映像が表示・録画等できないことによる不便・損害・被害
- ⑦ 振動や衝撃、または温度など設置場所の環境に起因する内蔵HDDの故障ならびに映像データの消滅による不便・損害・被害ならびにクレーム等
- ⑧ お客様により監視もしくは録画された映像が、理由の如何を問わず公とされたり、監視目的外に使用されたりしたことによる、プライバシー侵害等を理由とする賠償請求やクレーム等
- ⑨ 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ⑩ 弊社が供給したコマンドの情報をもとに作成したプログラムによって発生した不具合あるいはその結果により被る不便・損害・被害

- ・ この製品は、カメラで監視している映像を録画・再生することを目的に作られたものです。この製品で犯罪などを防止できることを保証するものではありません。

# ご注意

## オープンソースソフトウェアについて

このたびは、三菱ネットワークレコーダー NM-NV10（以下、本機という）をお買上げいただき、ありがとうございます。

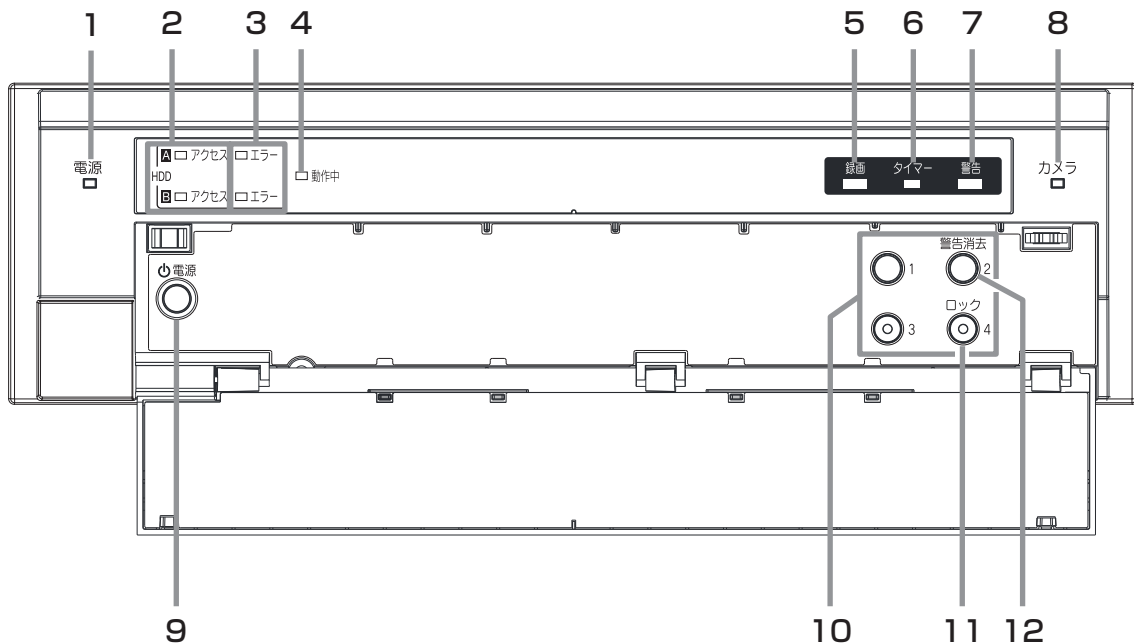
本機には GNU General Public License または GNU Lesser General Public License の適用を受けるソフトウェアが含まれております。GNU General Public License または GNU Lesser General Public License が適用されるソフトウェアの使用許諾条件については、「GNU GPL / LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ」<sup>注)</sup> をごらんください。

さらに、本機に含まれるその他のオープンソースソフトウェアは、「その他のオープンソースソフトウェアに関するお知らせ」<sup>注)</sup> をごらんください。

注) 「GNU GPL / LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ」ならびに「その他のオープンソースソフトウェアに関するお知らせ」は、付属の CD のフォルダ「OpenSoft\_License」内に、電子文書（電子ファイル notice\_GPL\_LGPL\_\*\*\*.pdf、notice\_other\_\*\*\*.pdf）として保存しておりますので、こちらをごらんください。（\*\*\*には、数字またはアルファベットが入ります。）

# 各部のなまえとはたらき

## 本体前面部（ドア内部）



### 1 電源インジケータ

後面部の MAIN スイッチが ON のときに電源ボタンを押すと、点灯します。待機状態や後面の MAIN スイッチが OFF のときは消灯します。電源ボタンを押してから本機の操作が可能になるまで、約 1～2 分かかります。起動時など動作の移行中は、点滅し、他の操作を受け付けません。

### 2 アクセスインジケータ（HDD A、HDD B）

HDD A または HDD B にアクセスしているときに、アクセス中の HDD のインジケータが一瞬緑色に点滅します。データの録画中は緑色に点滅します。

### 3 エラーインジケータ（HDD A、HDD B）

HDD A または HDD B にエラーが起きたときに点滅または点灯します。

### 4 動作中インジケータ

本機の動作中に点滅し、正常に動作中であることを表示します。正常動作では、3 秒ごとに 2 回点滅します。待機状態では消灯します。

### 5 録画インジケータ

録画を開始すると、点灯します。録画を停止すると、消灯します。

### 6 タイマーインジケータ

タイマー録画の動作中または待機中に点灯します。

### 7 警告インジケータ

本機に異常が発生した場合など、重要なお知らせがある場合に点灯します。LAN の接続が切断された場合に点滅します。

### 8 カメラインジケータ

ネットワークカメラが接続されているときに点灯します。ネットワークカメラとの接続にエラーがあるときに点滅します。ネットワークカメラが接続されていないときは、消灯します。

### 9 電源ボタン

後面部の MAIN スイッチが ON のときに押すと、電源が入ります。もう一度押すと、待機状態となります。起動時など動作の移行中は、電源インジケータが点滅し、他の操作を受け付けません。

### 10 1～4 ボタン

パスワードロック（キーロック）解除用のパスワードを入力するときに使用します。

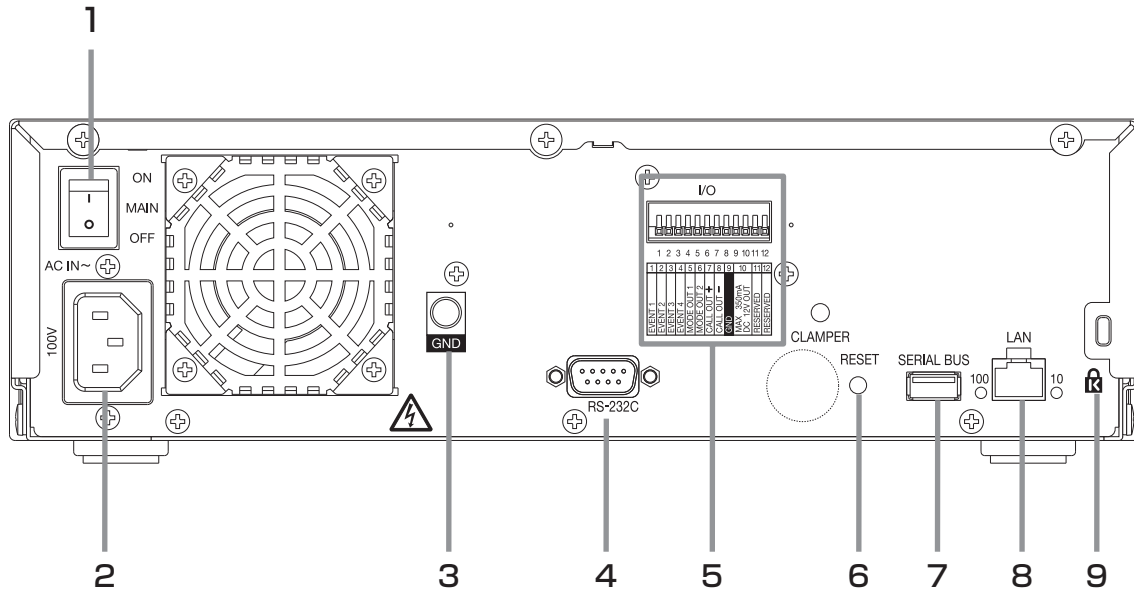
### 11 ロックボタン

後面部の MAIN スイッチが ON のときに押すと、パスワードロック（キーロック）状態になります。ロック中は、インジケータが点灯します。

### 12 警告消去ボタン

警告状態（警告インジケータ点灯中）のときに押すと、警告状態が解除されます。

## 本体後面部



### 1 MAIN スイッチ

主電源スイッチです。本機を使用する場合は、ON にします。OFF の場合は、前面部の電源ボタンで電源の入/切ができません。

### 2 電源コード差込口

付属の電源コードを差し込みます。アース端子は、安全のための接地アースです。本機の電源コードは、必ずアース付きの交流 100 V のコンセントに差し込んでください。

気を付けて.....

- コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。電源プラグのアース端子を、ガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けしないでください。
- 付属品の電源コードをご使用ください。

### 3 GND 端子

共用のグラウンド端子です。

### 4 RS-232C 端子

サービス用の端子です。ご使用になれません。

### 5 I/O 端子

#### EVENT 端子 (1 ~ 4)

EVENT 端子が接地すると、アラーム録画を開始します。EVENT 1 ~ 4 が 1ch ~ 4ch に対応します。

#### MODE OUT 端子 (1 ~ 2)

本機の状態を外部に伝えるための出力端子です。MODE OUT 1 端子は録画の状態を出力します。MODE OUT 2 端子はアラーム録画の状態を出力します。

気を付けて.....

- 本機後面の MAIN スイッチを ON にしたときや、停電から復帰したときに、MODE OUT 端子から数十ミリ秒間信号が出力される場合があります。

### CALL OUT+ 端子 / CALL OUT- 端子

本機の障害を外部に知らせるための端子とその専用 GND 端子です（アイソレーション端子）。

気を付けて.....

- 本機後面の MAIN スイッチを ON にしたときや、停電から復帰したときに、CALL OUT 端子から数十ミリ秒間信号が出力される場合があります。周辺機器を用いた発報を使用している場合は、ご注意ください。

### GND 端子

共用のグラウンド端子です。

### DC 12V OUT 端子

直流電圧出力のための端子で、MAIN スイッチと電源ボタンが ON の場合のみ出力します。最大電流は 350mA です。

### 6 RESET ボタン

押しすと、初期状態となり、電源が切れます。この場合、映像データ、メニュー設定や現在時刻はそのまま保持されます。

### 7 SERIAL BUS ポート

サービス用の端子です。ご使用になれません。

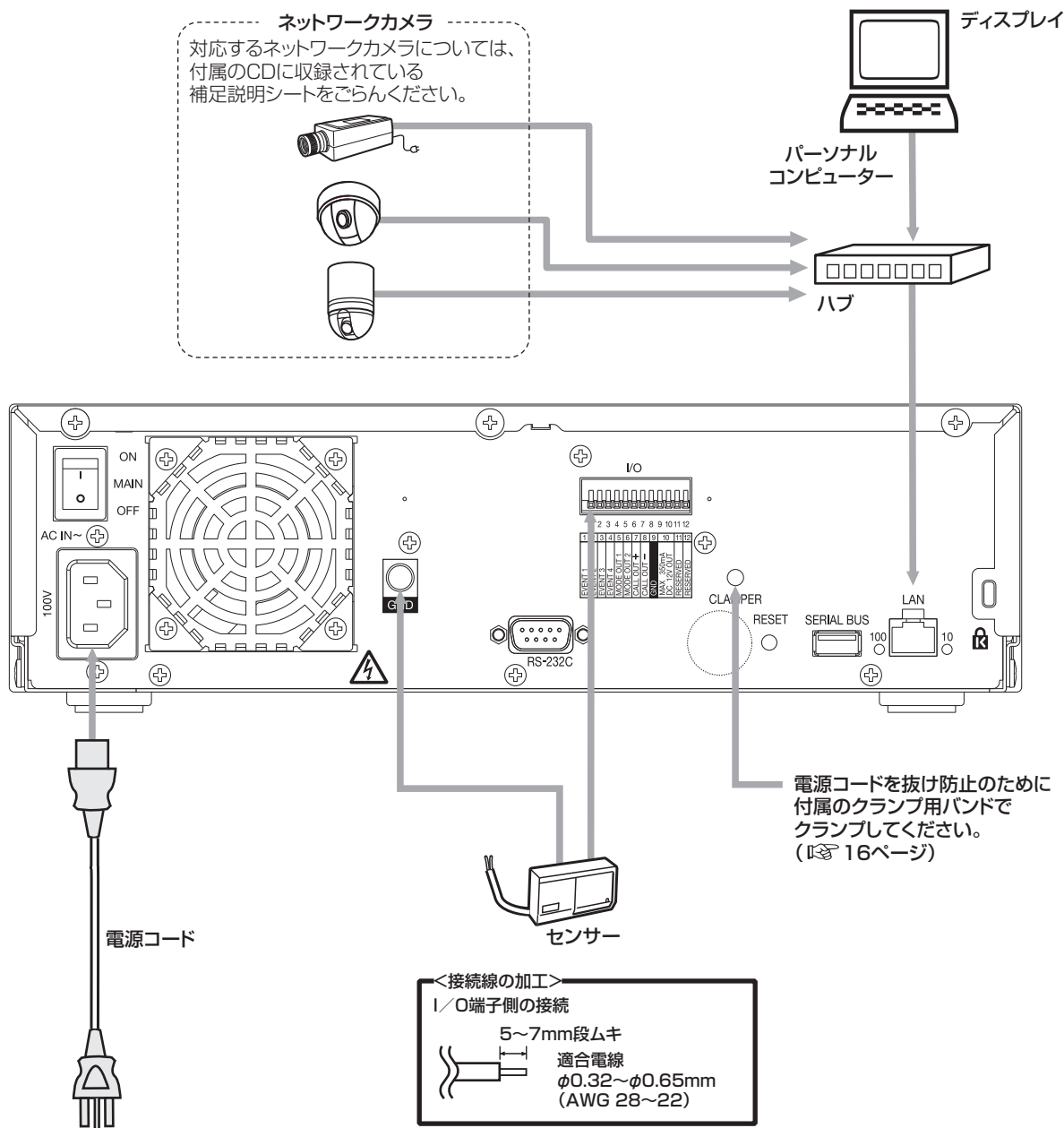
### 8 LAN 端子

ネットワークカメラとパーソナルコンピューターとの間で通信を行うための端子です。

### 9 盗難防止用ロック穴

市販の盗難防止用ケーブル（Kensington 社製）などを接続するためのかぎ穴です。

# 接続する



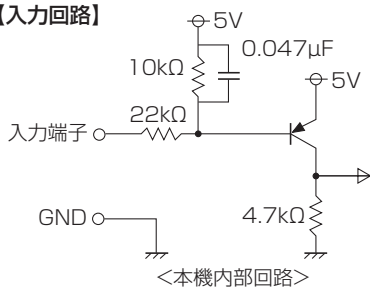
推奨動作環境	
パーソナル コンピューター	Intel Core 2 Duo 以上の CPU を搭載した IBM PC / AT 互換機 2GB 以上の物理メモリを推奨
OS	Windows XP または Windows Vista
ディスプレイ	1280 × 768 ピクセル以上 1920 × 1200 ピクセル以下の解像度
ハブ	100BASE-TX または 1000BASE-T (100BASE-TX 対応できるもの)

**気を付けて**

- 本機の動作状態によっては、本機の動作が緩慢になったり、外部機器の制御が遅れたりする場合があります。
- 上記の動作環境は、すべての環境で動作を保証するものではありません。

### EVENT 1~4 入力端子

#### 【入力回路】



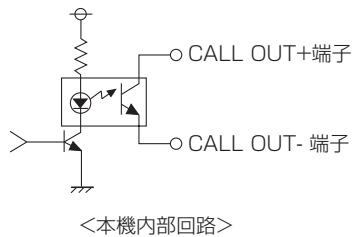
【入力条件】 200ms以上接地

【入力間隔】 1秒以上

【仕様】 動作時: GND端子に短絡または「L」レベル電圧印加、  
非動作時: オープン

### CALL OUT 出力端子

#### 【出力回路】



【仕様】 ワーニング警報信号 (フォトコプラ出力)

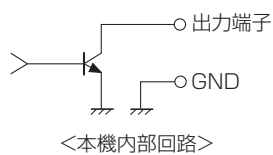
動作時: ショート 最大許容印加電流7mA DC、

非動作時: オープン 最大許容印加電圧+24V DC

※ 本機後面のMAINスイッチをONにしたときや、停電から復帰したときに、出力端子から数十ミリ秒間信号が出力される場合があります。

### MODE OUT 1-2 出力端子

#### 【出力回路】



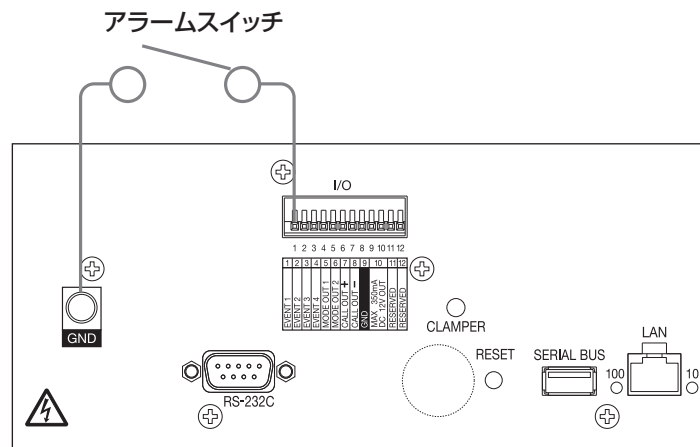
【仕様】 動作時: 「L」レベル電圧出力 最大許容印加電流7mA DC、  
非動作時: オープン 最大許容印加電圧+24V DC

※ 上記の定格を守ってご使用ください。

※ 本機後面のMAINスイッチをONにしたときや、停電から復帰したときに、出力端子から数十ミリ秒間信号が出力される場合があります。

## アラーム録画の接続

下図は、アラームセンサー1に対応したアラーム信号の接続例です。

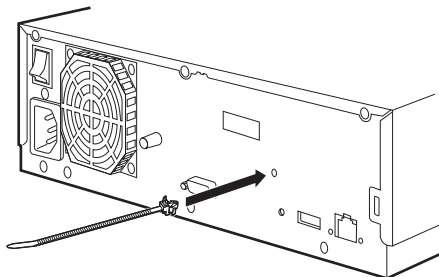


# 接続する (つづき)

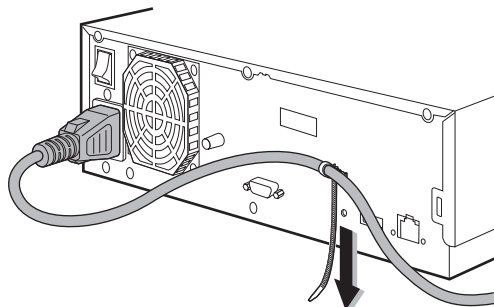
## ケーブルのクランプのしかた

**手順 1** 付属のクランプ用バンドを、本機後面のクランプ用の穴に取り付ける。

- ・ クランプ用の穴は、電源ケーブル用です。

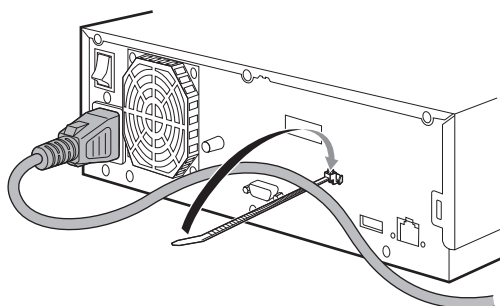


**手順 3** クランプ用バンドの端を、止まるまで引っ張る。



**手順 2** クランプするケーブルを、下図のようにクランプ用バンドに通す。

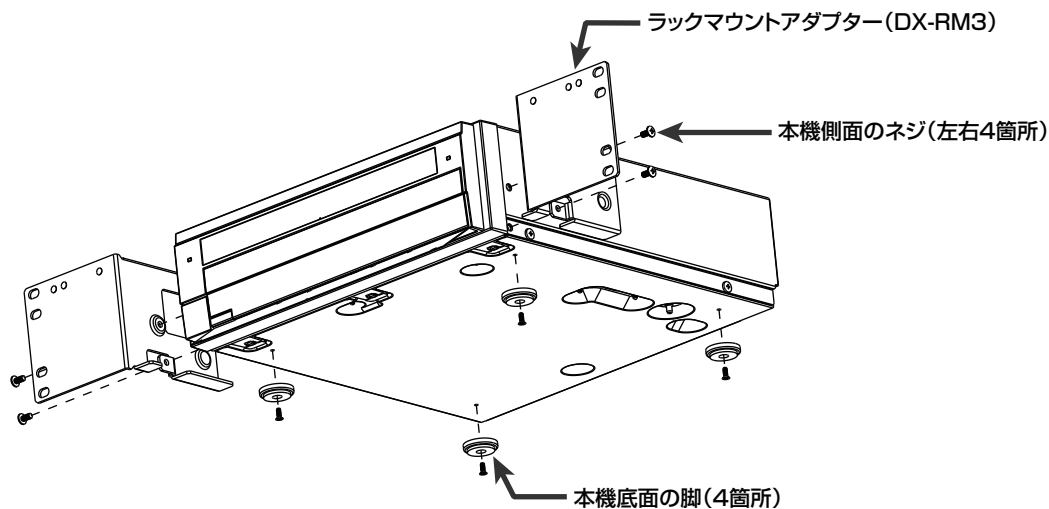
- ・ バンドのギザギザの面を内側に向けてください。



## EIA ラックに複数台のレコーダーを設置する場合のご注意

ラックマウントアダプター (DX-RM3) を使用して本機を EIA ラックの 2 ユニット分に取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 本機底面の脚をはずす。(4 箇所)
- 2 本機側面のネジを使用して、ラックマウントアダプターを取り付ける。(左右 4 箇所)
- 3 EIA ラックに本機をネジ止めして取り付ける。  
ネジはラックに合わせてご用意ください。





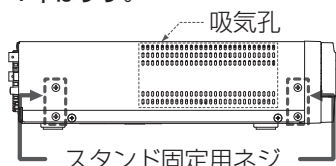
## 本機を縦置きで設置する

本機は、付属の縦置き用スタンドを取り付けて縦置きすることができます。

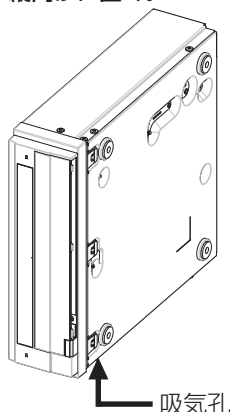
### 気を付けて

- ・ 縦置きする場合は、必ず付属のスタンドを使用してください。使用しないと吸気孔が塞がれ、火災の原因となります。

**手順 1** 本機正面から向かって左側面のスタンド固定用ネジを4本はずす。



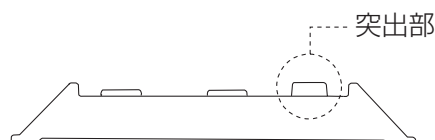
**手順 2** 縦向きに置く。



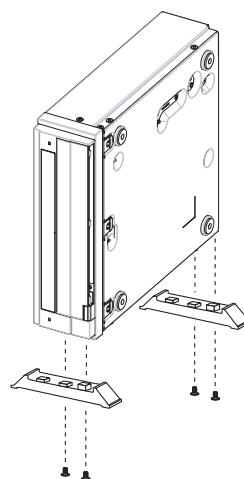
### 気を付けて

- ・ 本機の吸気孔が必ず下になるようにして、縦向きに置いてください。逆向きに置くと、吸気孔による本機内部の冷却効果が弱くなるとともに、重心が高くなるため本機が倒れやすくなります。

**手順 3** 付属の縦置き用スタンドの突出部を右にする。本機と穴が一致するように合わせる。



**手順 4** 縦置き用スタンドの下側から、スタンド固定用のネジで本機と縦置き用スタンドを固定する。



## 本機を起動する

### 本機を起動する

**手順 1** 本機後面の MAIN スイッチを ON にする。

- ・ 電源インジケータがしばらく点滅します。

**手順 2** 本機前面の電源インジケータが消灯していることを確認する。

**手順 3** 初期設定 - IP アドレス設定

付属の CD に収録されているソフトウェア NV10 IP-Address Setup (IP アドレス設定用ソフトウェア) を使用して、本機の IP アドレスを設定する。

- ・ 工場出荷時の IP アドレスの設定は、「192.168.0.100」です。

**手順 4** 操作

- ・ 本機の操作には、付属の CD に収録されているソフトウェア NM-S10 を使用します。使用方法については、ソフトウェアの取扱説明書をごらんください。
- ・ 工場出荷時は、本機の接続用パスワードに「admin000」が設定されています。このパスワードは付属のソフトウェア NM-S10 を使用して変更することができます。
- ・ 3台のパーソナルコンピューターから本機に同時にアクセスすることができます。

**手順 5** 日時の設定

- ・ 本機の運用開始前に、付属のソフトウェア NM-S10 を使用して本機の日時を必ず設定してください。

# 本機を起動する（つづき）

## 本機と付属のソフトウェア NM-S10 の仕様

ネットワークカメラ	対応ネットワークカメラ	付属の CD に収録されている補足説明シートをごらんください。
	圧縮方式	MJPEG
	接続台数	最大 16 台 ※ カメラ、画像サイズ、画質、フレームレートなどの設定により、接続可能な最大台数は変わります。
ライブ映像	ライブ映像表示	付属のソフトウェア NM-S10 からネットワークカメラへの直接接続による映像取得／表示
録画	圧縮方式	MJPEG（接続カメラによる圧縮）
	画像サイズ	1280 × 960、640 × 480 または 704 × 480、 320 × 240 または 352 × 240（接続カメラによる）
	録画フレームレート	最高 30 フレーム（／ch）（接続カメラによる） ※ フレームレートはネットワークカメラへの設定値であり、録画が保証されるものではありません。カメラの状態や LAN の接続状態などに影響を受けることがあります。 ※ カメラ、画像サイズ、画質などの設定やカメラの接続台数により、設定可能なフレームレートは変わります。
	画質設定	5 段階（超高画質／高画質／中高画質／中画質／低画質）
	アラーム録画	あり 後面入力端子：イベント 1 ～ 4 が 1ch ～ 4ch に対応 LAN：ネットワークカメラの接点端子または動き検知
	プリアラーム録画	あり（最大 15 秒）
	タイマー録画	カメラごとにタイマープログラムを設定可能 ※ タイマープログラムの録画開始時間より少し前に録画を開始します。 ※ アラーム録画中であってもタイマー録画終了時刻になると録画を終了します。
再生・検索	再生	順再生、逆再生、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻し
	検索	時刻検索、アラームリスト検索、保存履歴検索
発報	IP 発報	本機が警告状態になった場合など最大 3 件の IP アドレスポートに対して発報可能（本機が発報する項目については、エラーログをごらんください。）
システムログ		最新の 10,000 件をレコーダーより取得可能
付属のソフトウェア NM-S10 のその他の機能	画像出力	JPEG 形式による静止画保存、AVI 形式による動画保存
	ユーザー権限	3 権限レベル（管理ユーザー、一般ユーザー、制限ユーザー）設定可能

# 本機のボタン操作をロックする

---

パスワードロック（キーロック）をかけると、本機のボタン操作ができなくなります。

## ■ ロック方法

**手順 1** 本機後面の MAIN スイッチが ON のときに、前面のロックボタンを 2 秒以上押す。

- ・ 付属のソフトウェア NM-S10 を使用してパスワードロック（キーロック）をかけることもできます。

## ■ ロック解除方法

**手順 1** 電源ボタンを押す。

**手順 2** 1～4 ボタンでパスワードを入力し、電源ボタンを押して確定する。

- ・ 付属のソフトウェア NM-S10 を使用してパスワードロック（キーロック）を解除することもできます。
- ・ 工場出荷時のパスワードの設定は、「1234」です。

## ■ パスワード変更方法

- ・ パスワードの変更は、付属のソフトウェア NM-S10 を使用して行ってください。パスワードは、1～4 の 4 つの数字を 4～16 桁に組み合わせて設定します。

# HDD 運用モードの設定をする

## HDD 運用モードについて

本機には、以下の2つのHDD運用モードがあります。

### 気を付けて

- 本機の運用モードを変更する際には、HDDを初期化する必要があります。運用を変更すると、初期化せずに本機を起動することはできません。初期化を行うと、それまでに録画していたデータが再生できなくなりますのでご注意ください。

### ■ スパニング運用（工場出荷時設定）

2台の内蔵HDDを見かけ上1台に結合し、1台のHDDとして使用します。容量は2台の合計の値となります。

### 気を付けて

- HDDが一方でも故障すると、そのレコーダーへの録画が継続できなくなります。もう一方のHDDが正常でもデータを再生することはできなくなります。

### ■ ミラーリング運用

2台の内蔵HDDに同じデータを同時に録画します。

HDDが1台故障した場合でも、故障したHDDを交換すると、新しく取り付けられたHDDにもう1台のHDDからデータが自動的にコピーされ、故障前の状態に復帰させることができます（データの同期化）。

データの同期化は、1TBで約16時間かかります。これは、他の動作をしていない状態での時間の目安であり、録画中や再生中は、これよりも長くなります。電源のOFFなどで同期化が途中で中止された場合は、再び電源が入ると続きから同期化を行います。

### 気を付けて

- ミラーリング運用で故障したHDDを交換する場合は、未使用のものを取り付けてください。すでに使用したHDDを取り付けると、データの同期化に失敗し、動作ができなくなる場合があります。

## 設定のしかた

本機の運用モードを変更するには、必ず以下の手順にしたがってHDDの管理情報を消去してから運用モードを変更してください。管理情報の消去を行わずに運用モードを変更すると、本機への録画が正常にできなくなる場合があります。

また、運用変更を行うと、それまでに録画していたデータが再生できなくなりますので、運用方法を切り換える場合には、設定が合っているか、録画データが再生できなくなってもよいかを十分に確認の上作業を行ってください。

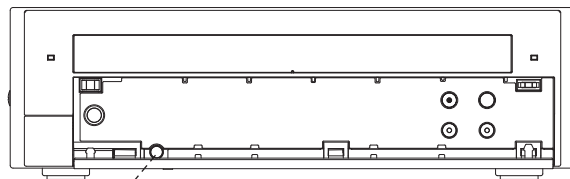
重要なデータが録画されている場合には、作業前に必ずコピーをとられることをおすすめします。

### 気を付けて

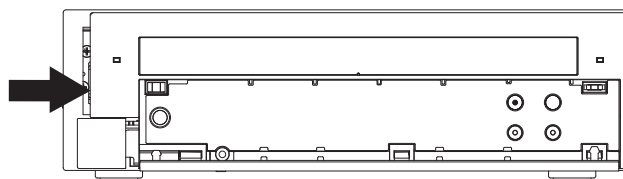
- 管理情報を消去すると、録画映像は再生できなくなりますのでご注意ください。

**手順1** 本機前面の電源ボタンを押してから、後面のMAINスイッチをOFFにする。

**手順2** 前面のドアを開け、ネジをはずす。



**手順3** 前面ユニットを右にずらしてはずす。



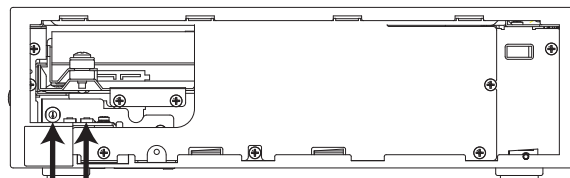
### 気を付けて

- 前面ユニットに接続されているケーブルをはずさないでください。

**手順4** モード設定用ロータリースイッチを7に設定する。

- モード設定用ロータリースイッチは、本機内部にあります。

<本機内部>



TESTボタン  
モード設定用ロータリースイッチ

**手順 5** 本機後面の MAIN スイッチを ON にしてから、前面の電源ボタンを押す。

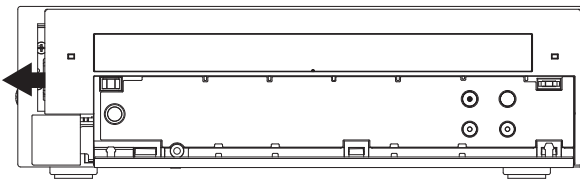
**手順 6** 起動後、ブザーがピツとなったら、TEST ボタンを押す。  
・ 管理情報の消去機能がはたらき、アクセスインジケータが点滅します。消去が完了すると、緑色に点灯します。

**手順 7** モード設定用ロータリースイッチを希望する運用に対応した番号に設定する。

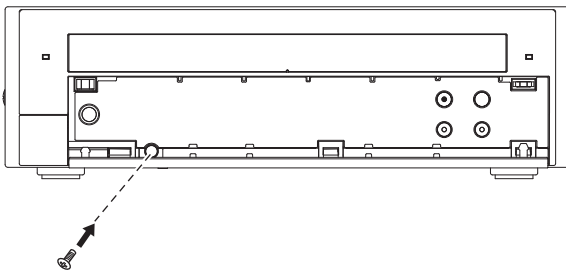
モード設定用ロータリースイッチ	HDD 運用モード
0	使用しないでください
1	スパニング
2	ミラーリング
3～F	使用しないでください

**手順 8** 本機前面の電源ボタンを押してから、後面の MAIN スイッチを OFF にする。

**手順 9** 前面ユニットを取り付ける。  
・ ユニットを取り付けて、左にずらしします。



**手順 10** ネジをしめて前面ユニットを固定し、前面のドアを閉める。



**手順 11** 本機後面の MAIN スイッチを ON にする。

**気を付けて** .....

・ 初期化を行う前に、同一ネットワーク内に同じ IP アドレスが設定されたレコーダーがないことを十分に確認してください。

**手順 12** 付属のソフトウェア NM-S10 を使用して HDD を初期化する。

**気を付けて** .....

・ HDD の初期化を行うと、それまでに録画していたデータが再生できなくなりますのでご注意ください。

# 「故障かな」と思う前に

## インジケータの点灯／点滅状態

本機前面のインジケータが本機の状態によって以下の表のように点灯または点滅します。

		電源	録画	タイマー	警告	カメラ	4/ ロック
		緑	赤	赤	黄	緑	緑
起動後の異常状態	正常（異常なし）				■		
	LAN 接続異常				⚡		
	警告状態				□		
カメラの通信状態	カメラ未接続					■	
	カメラ通信異常					⚡	
	カメラ通信状態					□	
起動時の異常状態	HDD が認識できない	⚡	□	□	□	■	■
	管理情報の読み出しにてエラー／無応答発生	⚡	■	■	□	■	⚡
	未フォーマット	⚡	■	■	■	■	⚡

- : 消灯
- : 点灯
- ⚡ : 点滅

## 「故障かな」と思う前に

以下の内容をお調べになったあと、それでも不都合がある場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。

Q こんな症状が出たら	A ここをお調べください	ページ	
設置	本機の電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグがコンセントから外れていませんか？</li> <li>● 後面部の MAIN スイッチが「OFF」になっていませんか？</li> <li>● 4 / ロックインジケータが点灯していませんか？</li> <li>● タイマーインジケータが点灯していませんか？</li> </ul>	13, 14 13 12 12
	電源が入っているのに動かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源インジケータが点滅していませんか？ 点滅中は、操作を受け付けません。</li> <li>● 安全装置がはたらいしている可能性があります。後面部の RESET ボタンをボールペンなどで押してから、電源を入れなおしてください。</li> <li>● 警告インジケータが点灯、電源インジケータが点滅していませんか？ 4 / ロックインジケータと電源インジケータの両方が点滅していませんか？ HDD が認識されていない可能性があります。</li> </ul>	12 13 12, 22

	Q こんな症状が出たら	A ここをお調べください	ページ
録 画	録画ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録画するカメラは正しく設定されていますか？</li> <li>● 通常録画の設定は正しくされていますか？ 付属のソフトウェア NM-S10 の設定を確認してください。</li> <li>● カメラインジケータの点灯状態を確認してください。</li> </ul>	— — 12, 22
	録画を停止することができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイマー録画中ではありませんか？</li> </ul>	—
	アラーム録画ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アラーム録画の設定は正しくされていますか？ 付属のソフトウェア NM-S10 の設定を確認してください。</li> <li>● 外部のセンサーなどが正しく接続されていますか？</li> <li>● カメラの設定は正しくされていますか？ 付属のソフトウェア NM-S10 の設定を確認してください。</li> </ul>	— 14, 15 —
	タイマー録画ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイマー録画の開始／終了時刻などは正しく設定されていますか？ 付属のソフトウェア NM-S10 の設定を確認してください。</li> <li>● レコーダーの日は正しく設定されていますか？</li> </ul>	— —
再 生	再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レコーダーの電源は入っていますか？</li> <li>● データが消去されていませんか？</li> <li>● 再生するレコーダーまたはカメラが選択されていますか？ 付属のソフトウェア NM-S10 の設定を確認してください。</li> </ul>	12, 13 — —
	パーソナルコンピューターから接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく接続されていますか？</li> <li>● 接続ケーブルに接続不良はありませんか？</li> <li>● 接続ケーブルの種類は合っていますか？</li> <li>● レコーダー、パーソナルコンピューター、ネットワークカメラの IP アドレスが重複していませんか？</li> <li>● パーソナルコンピューターからレコーダーに ping コマンドが通りますか？</li> <li>● 本機前面の電源ボタンと本機後面の MAIN スイッチで本機の電源を切り、再び入れ直してみてください。</li> <li>● 故障したハブやルーター、劣化したネットワークケーブルなどは接続しないでください。システムが正しく動作しないことがあります。</li> <li>● 警告インジケータが点滅していませんか？</li> </ul>	14 — — — — 12, 13 — 12
通 信	ライブ映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラやハブが正しく接続されていますか？</li> </ul>	14
	データの取得が一時的に途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レコーダーの負荷が高くなっていませんか？</li> <li>● HDD に軽度の障害がある可能性があります。</li> </ul>	— —
そ の 他	ボタン操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源インジケータが点滅していませんか？ 点滅中は、操作を受け付けません。</li> <li>● 4 / ロックインジケータが点灯していませんか？</li> </ul>	12 12

# エラー表示

本機にエラーが発生すると、ログリストにログが登録されます。警告表示を消去するには、警告消去ボタンを押してください。

※ 1：警告区分について

注意：発生原因をご確認のうえ、警告を消去してそのままご使用ください。頻繁に発生する場合は、販売店へご相談ください。  
異常：販売店へご相談ください。

※ 2：(□□には、下記の番号が入ります。)

01：CH1    02：CH2    03：CH3    04：CH4  
05：CH5    06：CH6    07：CH7    08：CH8  
09：CH9    10：CH10    11：CH11    12：CH12  
13：CH13    14：CH14    15：CH15    16：CH16

<エラーログ>

ログ番号	付属のソフトウェア NM-S10でのログ表示	原因	対処	コールアウト 信号の出力	IP 発報	警告区分 ※ 1
5100	LOG5100	・システム復旧機能がはたらいた。	・本機前面の警告消去ボタンを押して、警告を解除する。 ・ログリストで他のエラーがないか確認する。	出力する	発報する	注意
5101 5121	LOG5101 LOG5121	・システム復旧機能がはたらいた。(ウォッチドッグ)	・本機前面の警告消去ボタンを押して、警告を解除する。	出力する	発報する	注意
9900	LOG9900	・HDD 管理情報の読み出しができなかった。	・HDD が故障している可能性があります。販売店にご相談ください。	出力する	発報する	異常
6100	LOG6100	・HDD が認識できなくなった。	・HDD に異常がないか確認する。	出力する	発報しない	注意
6200	LOG6200	・HDD が認識できなかった。	・HDD が故障している可能性があります。販売店にご相談ください。	出力する	発報する	異常
6400	LOG6400	・ミラーリングしている片方の HDD が認識できなかった。	・HDD に異常がないか本機のエラーインジケーターで確認する。 ・販売店にご相談ください。	出力する	発報する	異常
1400	LOG1400	・HDD へのデータ書き込み中にエラーが発生した。	・頻繁に発生する場合は、販売店にご相談ください。	出力する	発報しない	注意
2400	LOG2400	・HDD からのデータ読み出し中にエラーが発生した。	・頻繁に発生する場合は、販売店にご相談ください。	出力しない	発報しない	注意
1500 1600	LOG1500 LOG1600	・録画したデータのチェックでエラーが発生した。	・頻繁に発生する場合は、販売店にご相談ください。	出力しない	発報しない	注意
1300	LOG1300	・HDD へのデータ書き込み中に軽微なエラーが発生した。	・頻繁に発生する場合は、販売店にご相談ください。	出力しない	発報しない	注意
2300	LOG2300	・HDD からのデータ読み出し中に軽微なエラーが発生した。	・頻繁に発生する場合は、販売店にご相談ください。	出力しない	発報しない	注意
54□□ ※ 2	LOG54□□ ※ 2	・カメラ (□□ ch) へ接続できなかった。	・本機前面の警告消去ボタンを押して、警告を解除する。 ・本機とカメラが正しく接続されているか、カメラ、ハブ等の電源が入っているか確認する。	出力する	発報する	注意
5200	LOG5200	・レコーダーの周囲温度が高温になった。	・5～40℃の環境に設置する。	出力する	発報する	注意
5201	LOG5201	・レコーダーの周囲温度が異常な高温になった。	・5～40℃の環境に設置する。 ・5～40℃の環境に設置しても発生する場合は、本機の電源を切って販売店にご相談ください。	出力する	発報する	異常



<エラーログ> (つづき)

ログ番号	付属のソフトウェア NM-S10でのログ表示	原因	対処	コールアウト信号の出力	IP 発報	警告区分 ※ 1
5300	LOG5300	・ ファンに異常が発生した。	・ 電源を切って、直ちに販売店にご相談ください。	出力する	発報する	異常
8000	LOG8000	・ LAN の接続が切断された。	・ 本機とハブ間の LAN 接続を確認してください。	出力しない	発報しない	注意
8501	LOG8501	・ カメラ映像のデータサイズが一時的に大きくなったので、一旦録画を停止した。	・ 頻繁に発生する場合は、カメラの設定を変更してください。(フレームレートを下げる、画質を下げるなど)	出力しない	発報しない	注意

<操作ログ>

ログ番号	付属のソフトウェア NM-S10でのログ表示	操作
0001	P-LOSS	本機の (レコーダーの) 動作中に停電した。
0002	P-RETURN	停電から復帰した。
0100	POWER OFF	本機の (レコーダーの) 電源を OFF にした。
0101	POWER ON	本機の (レコーダーの) 電源を ON にした。
0102	POWER COM OFF	通信経由で本機の (レコーダーの) 電源を OFF にした。
0103	POWER COM ON	通信経由で本機の (レコーダーの) 電源を ON にした。
0112	REC COM OFF	通信経由で録画を停止した。
0113	REC COM ON	通信経由で録画を開始した。
0122	TIMER COM OFF	通信経由でタイマー録画を停止した。
0123	TIMER COM ON	通信経由でタイマー録画を開始した。
0129	CHANGE TIMER PRG	通信経由でタイマープログラムの反映操作をした。
0130	LOCK OFF	本機の (レコーダーの) パスワードロックを解除した。
0131	LOCK ON	本機の (レコーダーの) パスワードロックをかけた。
0132	LOCK COM OFF	通信経由で本機の (レコーダーの) パスワードロックを解除した。
0133	LOCK COM ON	通信経由で本機の (レコーダーの) パスワードロックをかけた。
0500	FORCED P-OFF	強制電源 OFF した。
0501	SYS RST	本機の (レコーダーの) RESET ボタンを押した。
0581	MODE-INIT	初期化モードを起動した。
0583	MODE-INIT (COM)	通信経由で初期化モードを起動した。
0590	WNG RESET	警告状態を解除した。(CALL OUT 解除)
0601	TIME SETTING (B)	本機の (レコーダーの) 日時を設定した。(変更前時刻)
0602	TIME SETTING (A)	本機の (レコーダーの) 日時を設定した。(設定時刻)
0610	PASSWORD SETTING	レコーダーの接続パスワードを設定した。
0620	RECORDER SETTING	レコーダーに関する設定をした。
0650	CAMERA SETTING	カメラに関する設定をした。
0900	FW VER.UP	ファームウェアを更新した。

# 仕様

## 一般

電源	AC100V 50 / 60Hz
定格電流	0.58A
許容周囲温度	5 ~ 40℃
許容相対湿度	最大 80%
許容高度	2000m 以下
外形寸法	30.0 (幅) × 9.1 (高さ) × 33.7 (奥行) cm
質量	約 6.7kg (HDD2 台接続時)

## 付属品

● 電源コード	1 本
● クランプ用バンド	2 本 (1 本は予備)
● 取扱説明書 (本書)	1 冊
● CD	1 枚
● 保証書	1 通
● 縦置き用スタンド	2 個

## 制御端子

EVENT 1 ~ 4	動作時： GND 端子に短絡または「L」レベル電圧印加、 非動作時：オープン
MODE OUT 1 ~ 2	動作時： 「L」レベル電圧出力 最大許容印加電流 7mA DC、 非動作時：オープン 最大許容印加電圧 +24V DC
CALL OUT + / - (フォトカプラ出力)	動作時： ショート 最大許容印加電流 7mA DC、 非動作時：オープン 最大許容印加電圧 +24V DC
GND 端子	
DC 12V OUT	電源 ON 時：最大出力電流 350mA
RS-232C	RS-232C 規格準拠 (D-sub9 ピンコネクタ)
LAN	コネクタ形状 RJ-45 物理インターフェース 10BASE-T / 100BASE-TX
シリアルバス	

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

# 録画時間表

- この録画時間表には、参考値としておおよその録画時間（内蔵の1TB×2台のHDDにスパニング運用で録画する場合）を記載しています。
- 記載している時間は、すべてのカメラに同じ画像サイズと画質を設定した場合の録画見積もり時間です。
- 記載している録画見積もり時間は、機能動作上の連続録画可能時間であり、製品保証期間ではありません。また、使用部品の動作信頼性を保証する期間でもありません。

## ■ フレームレート 1fps × 6ch の場合

画像サイズ	画質	画像容量 (KB)	録画見積もり時間
1280 × 960	超高画質	230	16日9時間
	高画質	200	18日20時間
	中高画質	166	22日16時間
	中画質	133	28日7時間
	低画質	100	37日16時間
640 × 480	超高画質	100	37日16時間
	高画質	80	47日2時間
	中高画質	60	62日19時間
	中画質	40	94日4時間
	低画質	30	125日14時間
320 × 240	超高画質	25	150日17時間
	高画質	20	188日9時間
	中高画質	15	251日5時間
	中画質	10	376日19時間
	低画質	8	471日0時間

## ■ フレームレート 1fps × 16ch の場合

画像サイズ	画質	画像容量 (KB)	録画見積もり時間
640 × 480	中画質	40	35日7時間
	低画質	30	47日2時間
320 × 240	超高画質	25	56日12時間
	高画質	20	70日15時間
	中高画質	15	94日4時間
	中画質	10	141日7時間
	低画質	8	176日15時間

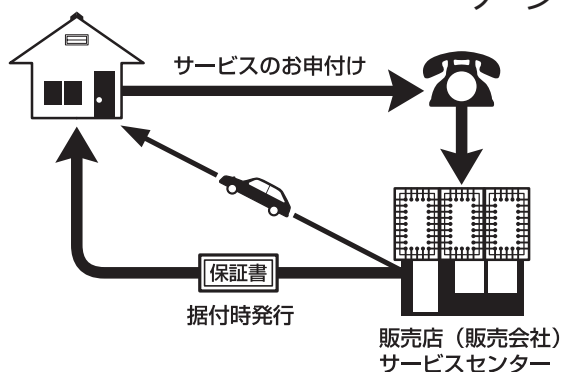
## ■ フレームレート 5fps × 16ch の場合

画像サイズ	画質	画像容量 (KB)	録画見積もり時間
320 × 240	中画質	10	28日6時間
	低画質	8	35日7時間

### 気を付けて

- 上記の録画見積もり時間は、ネットワークカメラから送られてくる画像容量を表内の各カメラの画像容量として見積もった場合のおおよその録画時間となります。
- カメラから送られてくる実際の画像容量は、接続するネットワークカメラの種類や撮影する画像などによって増減するため、実際の録画時間もこれらにより増減します。
- 単調な画像を録画した場合は、画像容量が小さくなるため、実際の録画時間が上記の録画見積もり時間の3～4倍程度に増加することがあります。

## アフターサービス



ネットワークレコーダーを末長くご愛用いただくために、定期点検を受けられることをおすすめします。点検については販売店にご相談ください。

### 1. 保証書—内容のご確認と保存のお願い

必ず販売店名・保証期間をご確認のうえ、よくお読みになって、大切に保存してください。

### 2. 保証期間—1年

正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で修理いたします（消耗部品を除く）。

保証期間内でも原則として有料にさせていただきます場合があります。詳細は、保証書記載事項をごらんください。

### 3. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな」と思う前にの項を点検していただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、販売店にお申し出ください。

### 4. その他ご不明の点は

販売店にご相談ください。

本機は日本国内専用です。放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 愛情点検

●長年ご使用のネットワークレコーダーの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）



このような  
症状は  
ありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像が出ない。
- その他の異常・故障がある。

ご使用  
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ネットワークレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入店などをメモしておく、あとで役に立ちます。

形 名	NM-NV10	お買上げの 販売店	
お買上げ日		(電話番号)	( ) -

**三菱電機株式会社**

京都製作所 〒617-8550 京都市長岡京市馬場岡所 1 番地

872C497A4

PRINTED IN MALAYSIA